

令和7年度 事業報告

事業名	実施状況の概要
公益目的事業 国際交流・多文化共生の推進 (1) 地域の国際化に向けた情報の収集・提供・発信	ア 多言語情報の提供と発信 ア) ホームページの運営（県補助金 1/2） (決算額 361 千円/予算額 483 千円) 財団の情報や活動内容を発信するとともに、地域における国際交流の情報交換や在住の外国出身者が生活していく上で必要な生活情報の提供等を行うホームページ（日本語・英語・中国語・ベトナム語版）を運営し、適時情報を更新した。 ○主な掲載情報 ・R7.7 指差し避難カード（韓国語版） ・R8.1 1月6日地震後の注意喚起 ○サイト訪問数 41,789 件（月平均 3,482 件） 前年度比 28%増 (事業報告附属明細書P18参照) イ) SNS による情報発信（県補助金 1/2） (決算額 5 千円/予算額 57 千円) 公式 SNS（Facebook「とっとりニコニコ」）を 4 言語（やさしい日本語・英語、中国語簡体字、中国語繁体字、ベトナム語）で運営し、在住外国人に対して生活、防災、各種制度に関する情報をタイムリーかつ分かりやすく発信した。 ○主な発信情報 ・鳥取県の最低賃金改定、マイナ保険証の案内 ・大雪・地震への注意喚起、あんしんトリピーなび（防災アプリ）の紹介 ・在留資格の変更手続、年金・医療制度の紹介 (事業報告附属明細書P18参照) ウ) 機関紙の発行（県補助金 1/2） (決算額 1,011 千円/予算額 1,220 千円) 財団の活動状況や地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」第 149 号～151 号を 7 月、11 月、3 月にそれぞれ発行した。（A4 カラー刷り 8 ページ 各 1,800 部 一部記事については英語・中国語・ベトナム語表記） イ 交流拠点の運営と関係機関との連携 ア) 本所・倉吉事務所・米子事務所の運営（県補助金 10/10） (決算額 11,380 千円/予算額 13,585 千円) 全県的な国際交流の推進のため、各地域の拠点となる施設として財団本所（県民ふれあい会館 3 階）、倉吉事務所（鳥取県中部総合事務所別館内）、米子事務所（米子コンベンションセンター4 階）を運営した。令和元年度から外国人相談窓口業務を県から受託して実施するほか、各拠点では一般図書、日本語教材、視聴覚資料及び雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸し出しに供する。 (事業報告附属明細書P19参照) イ) 関係機関との連携（自主事業） (決算額 226 千円/予算額 700 千円) i) 連絡調整 中国 5 県の地域国際化協会連携会議、中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会のプロ

	ック会議及び研修会に参加した。 ○中国 5 県地域国際化協会情報連携会議（2 か月に 1 回程度、主にオンライン会議） <table><tr><th>日 時</th><th>内 容</th></tr><tr><td>令和 7 年 6 月 27 日(金)</td><td>・外国人受入環境整備交付金（外国人相談窓口に係る交付金）の状況について ・地域国際化協会の開館時間について</td></tr><tr><td>令和 7 年 7 月 29 日(火)</td><td>・地域国際化協会連絡協議会運営幹事会（7/22）状況報告 ・令和 6 年度の決算状況と今後の運営について</td></tr><tr><td>令和 7 年 8 月 26 日(火)</td><td>・地域日本語教育推進事業の実施状況について ・教育委員会等との連携について</td></tr><tr><td>令和 7 年 9 月 30 日(火)</td><td>・国際交流・国際理解促進事業の実施状況について ・市町における国際交流事業について</td></tr><tr><td>令和 7 年 11 月 7 日(金)</td><td>・外国人相談窓口業務の役割と各機関等との連携について ・相談窓口で従事する外国人相談員の資質向上について</td></tr><tr><td>令和 8 年 2 月 24 日(火)</td><td>・災害時多言語支援センターについて ・後援名義の基準について</td></tr></table> ○中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会 日時：令和 7 年 12 月 15 日(月)～16 日(火) 場所：(公財) ひろしま国際センター 幹事：(公財) ひろしま国際センター 内容：各協会概況報告、議題に基づいた協議、研修会 ii) 地域連携等 市町村教育委員会事務局及び小中学校等と連携し、外国にルーツを持つ児童生徒の日本語支援を実施した。(要請のあった小・中学校に日本語支援員や教材などをコーディネート) 東部：対象 9 校 18 名に対し、支援員 7 名を紹介（掛け持ちあり） 中部：対象 1 校 1 名に対し、支援員 1 名を紹介 西部：対象 5 校 7 名に対し、支援員 3 名を紹介（掛け持ちあり） ○鳥取市帰国・外国人児童生徒等の支援体制の推進に係る連絡協議会 日時：令和 8 年 3 月 18 日（水）13:30～15:00 場所：鳥取市役所第 6 会議室 主催：鳥取市教育委員会 議題：日本語支援が必要な外国人児童生徒への指導の現状報告。今後の取組みと課題について意見交換。	日 時	内 容	令和 7 年 6 月 27 日(金)	・外国人受入環境整備交付金（外国人相談窓口に係る交付金）の状況について ・地域国際化協会の開館時間について	令和 7 年 7 月 29 日(火)	・地域国際化協会連絡協議会運営幹事会（7/22）状況報告 ・令和 6 年度の決算状況と今後の運営について	令和 7 年 8 月 26 日(火)	・地域日本語教育推進事業の実施状況について ・教育委員会等との連携について	令和 7 年 9 月 30 日(火)	・国際交流・国際理解促進事業の実施状況について ・市町における国際交流事業について	令和 7 年 11 月 7 日(金)	・外国人相談窓口業務の役割と各機関等との連携について ・相談窓口で従事する外国人相談員の資質向上について	令和 8 年 2 月 24 日(火)	・災害時多言語支援センターについて ・後援名義の基準について
日 時	内 容														
令和 7 年 6 月 27 日(金)	・外国人受入環境整備交付金（外国人相談窓口に係る交付金）の状況について ・地域国際化協会の開館時間について														
令和 7 年 7 月 29 日(火)	・地域国際化協会連絡協議会運営幹事会（7/22）状況報告 ・令和 6 年度の決算状況と今後の運営について														
令和 7 年 8 月 26 日(火)	・地域日本語教育推進事業の実施状況について ・教育委員会等との連携について														
令和 7 年 9 月 30 日(火)	・国際交流・国際理解促進事業の実施状況について ・市町における国際交流事業について														
令和 7 年 11 月 7 日(金)	・外国人相談窓口業務の役割と各機関等との連携について ・相談窓口で従事する外国人相談員の資質向上について														
令和 8 年 2 月 24 日(火)	・災害時多言語支援センターについて ・後援名義の基準について														
(2) 地域の国際化につながる活動の推進と在住外国人トータルサポート事業	ア あんしん生活・コミュニケーション支援 ア) 多文化共生コーディネーターの配置（県委託料 1/2、県補助金 1/2） （決算額 3,979 千円/予算額 4,121 千円） 外国人住民の増加及び多国籍化・多言語化に伴い、単に言葉の問題にとどまらず解決しなければならない問題が益々多様化・複雑化してきている現状において、県内在住外国人ならではの目線・視点を持って、日本人では気付きにくい日本人と外国人との文化的な背景や慣														

習・制度の違いによるギャップを把握し、寄り添いながら課題解決に取り組む「多文化共生コーディネーター」を令和4年度から配置している。(ベトナム出身1名)

日本人も外国人も共に暮らしやすいまちづくりを目指し、在住外国人の視点で Web 版「外国人のための鳥取県生活ガイドブック」の拡充、Facebook による様々な情報提供や相談対応、市町村や教育機関等と連携した防災勉強会等の企画運営への参画、防災啓発資料の企画・作成などに従事した。

<配置状況>

○本所 月・火・水・金曜日 9:00～17:15 (週 30 時間)

イ) 国際交流コーディネーターの配置 (県委託料 1/2、県補助金 1/2)

(決算額 3,785 千円/予算額 4,235 千円)

外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏、中国語圏、ベトナム出身の国際交流コーディネーターを配置し、面談や電話、トリオフン(三者通話機能)、TV 会議システム、メール等を活用して母国語で困りごと等の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行った。(他の言語については多言語対応アプリを搭載したタブレットにより対応)

また、ホームページや SNS、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師を務めるなど地域交流事業にも参画した。(英語圏出身 1 名、中国語圏出身 2 名、ベトナム出身 1 名)

<配置状況>

○本所 英語対応 月・水曜日 13:30～17:30、金曜日 14:30～17:30

中国語対応 月・火曜日 9:00～17:00

ベトナム語対応 (多文化共生コーディネーター配置)

○倉吉事務所 中国語対応 水・木曜日 9:00～17:00

ベトナム語対応 月・金曜日 9:00～17:00

○米子事務所 中国語対応 水・木曜日 9:00～17:00 (予約制)

ベトナム語対応 月・金曜日 9:00～17:00 (予約制)

ウ) 鳥取県における地域日本語教育推進体制整備事業(県委託料・文部科学省教育支援体制整備事業費補助金(地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業))

(決算額 10,354 円/予算額 14,111 千円)

令和元年 6 月に「日本語教育の推進に関する法律」が施行され、地域の状況に応じた施策を策定・実施することが地方公共団体の責務とされた。財団では令和 3 年度に「日本語クラスのあり方検討会」を設置し、コロナ禍にあっても地域に在住する外国人が自立した言語使用者として生活していく上で必要となる日本語能力を身に付け、日本語で意思疎通を図り生活できるよう支援していくための持続可能な運営方法について検討し、地域の日本語教育推進体制の整備、学習機会の確保・充実、日本語教育に携わる人材の育成、企業等関係機関との連携について提言を取りまとめた。これを機にこれまでの事業成果を活かしつつ、推進体制の構築と持続を目標に、令和 5 年度から文化庁(令和 6 年度から文部科学省に移管)地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業の採択を受けた鳥取県から受託し、事業実施している。年次計画(3 年目)に沿って、県、市町村、地域、財団、教育人材それぞれの役割を明確にしながら、連携・協働を進めた。令和 7 年度は 5 か年計画の折り返しでもあり、中間評価を行うことで今後の方向性や課題についても確認した。

i) 総合調整会議の設置

有識者、日本語教育関係者等からなる総合調整会議を設置し、県内における地域日本語教育の現状把握と課題を整理するとともに、県の基本方針に基づいて、さらに日本語教育に特化した総合的な推進計画（方向性と取組み）を策定することで関係機関の役割を明確にし、連携体制を構築する。

○令和7年度総合調整会議委員（10名）

分野	所属・職名	氏名
学識経験者	鳥取大学教育支援・国際交流機構 国際交流センター留学生教育指導部門 教授	御舘 久里恵
	岡山大学学術研究院社会文化科学学域 准教授	中東 靖恵
多文化共生・日本語学習支援団体	Toriフレンドネットワーク 事務局長	田村 昭夫
行政機関	鳥取市中央人権福祉センター 総括主査	川口 寿弘
	鳥取市教育委員会事務局 次長兼学校教育課長	浅見 康陽
	境港市産業部水産商工課 主査兼経済交流係長	本角 有希子
	鳥取県商工労働部雇用人材局雇用・働き方政策課障がい者・外国人就労支援室長	中嶋 浩一
事業実施主体	鳥取県輝く鳥取創造本部観光交流局交流推進課長	瀬良 知紀
受託事業者	財団・理事長	藤井 喜臣
外国人住民	財団・多文化共生コーディネーター	グエン ギ

○第1回総合調整会議

日時：令和7年8月19日（火） 13:25～16:10

場所：鳥取県庁第33会議室

内容：令和6年度鳥取県における地域日本語教育体制整備事業報告について
令和7年度鳥取県における地域日本語教育体制整備事業の進捗について
中間評価について

○第2回総合調整会議

日時：令和8年2月3日（火） 13:30～15:50

場所：鳥取県庁第21会議室

内容：令和7年度鳥取県における地域日本語教育体制整備事業の進捗について
令和8年度鳥取県における地域日本語教育体制整備事業計画案について

ii) 地域日本語教育総括コーディネーターの配置

事業の中核的存在（調整・推進役）として各主体との連携体制の構築を担う地域日本語教育総括コーディネーターを1名配置し、地域日本語教育コーディネーターの協力のもと「日本語教育の参照枠」に基づく「生活 Can do」を活用した適切な日本語教育プログラムをデザインし実践するとともに、他地域における実践や研修等の成果を事業に活用した。

<配置状況>

○本所 月・木・金曜日、倉吉事務所 火曜日 8:45～17:15（週30時間）

iii) 地域日本語教育コーディネーターの配置

県内を東・中・西部の3地域に分け、地域日本語教育コーディネーターを1名ずつ委嘱・配置し、それぞれの地域において専門的な知見をもとに県内のどの地域でも同一水準の日本語能力習得を可能とする日本語教育プログラム及び日本語教育人材育成研修の企画を総括コーディネーターとともにデザインし実践するとともに、地域の日本語教師及び日本語学習支援者への指導・助言を行った。

○東部担当：伊藤 邦子氏

○中部担当：福本 聡氏

○西部担当：井岸 昌世氏

iv) 「日本語教育の参照枠」に基づいた「生活 Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラム にほんごコースの実施及び講師専門研修

<2026 にほんごコース>

新しく鳥取県に住む外国人、能力の向上を目指した学び直しが必要な人など日本語学習を希望する全ての外国人住民が生活に必要な日本語能力を身に付けることができるよう、基礎から中級レベル（参照枠：A1～B1 レベル）の日本語学習機会を鳥取県が言語保障として無料で提供することで、鳥取での生活がより安心・安全なものになるよう国の指針である「日本語教育の参照枠」に基づく「生活 Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラムにほんごコースによる一定の質と学習時間が確保された学習環境を整備し、実施に当たっては市町村や関係機関のほか理念を共有する専門教育人材との連携による推進体制を構築した。このプログラムでは初級（A2）及び中級（B1）コースでオンライン学習と対面学習を組み合わせることで、学習者が環境に合った学習形式を選択でき、これまで地理的な問題等で学習機会が得られにくかった郡部に在住する外国人に対して配慮することで、事実上の空白地域解消に繋げることができている。また、外国につながる児童生徒の日本語学習支援の一環として、子どもにほんごクラスを実施した。

①にほんご・きそ（A1）コース

第1期：令和7年5月14日～9月12日の水・金曜日 13:30～16:30

第2期：令和7年10月8日～令和8年2月6日の水・金曜日 13:30～16:30

形式：対面学習

学習時間：各期100時間

会場 東部：鳥取市役所市民交流センター多目的室

中部：上井コミュニティセンター会議室

西部：米子市役所旧庁舎会議室

受講者数 第1期：7名、第2期：20名

②にほんご・初級（A2）コース

第1期：令和7年5月11日～10月5日

第2期：令和7年10月19日～令和8年3月22日

形式：対面学習（日曜日13:00～16:00）及びオンライン学習（火・金曜日19:30～21:00）

学習時間：各期100時間（対面学習38.5時間、オンライン学習61.5時間）

会場：東部：鳥取市役所市民交流センター多目的室

中部：上井コミュニティセンター会議室

西部：明道公民館会議室

受講者数 第1期57名、第2期：60名

③にほんご・中級（B1）コース

期間：令和7年5月18日～令和8年3月8日

形式：対面学習（日曜日13:00～16:00）及びオンライン学習（火・金曜日19:30～21:00）

学習時間：150時間（対面学習42時間、オンライン学習108時間）

会場：東部：鳥取市役所市民交流センター多目的室

中部：上井コミュニティセンター会議室

西部：明道公民館会議室

受講者数：53名

④子どもにほんごクラス（東部）

令和7年7月6日～11月16日 毎週日曜日 13:30～15:30 全19回

形式：対面学習（講師及びボランティアが受講者に対応）

会場：鳥取県国際交流財団交流スペース

受講者数：8名

v) やさしい日本語の普及・活用

○「やさしい日本語研修」出前講座

地域日本語教育への理解と、コミュニケーションの促進を図るため、地域の住民を対象に実施した。

日 時	対象（受講者数）・形式	講 師
令和7年3月25日（水）、26日（木） 16:00～17:00	岡田電工株式会社役員 及び社員（93名） 形式：対面及びオンライン のハイブリッド	国立大学法人鳥取大学 教育支援・国際交流推 進機構国際交流センタ ー 教授 御館 久里恵氏

<内容>

事例で考える異文化コミュニケーション

- ・異文化コミュニケーション（文化とは）
- ・価値観の類型（事前課題「あなたの価値観は？」を基に）
- ・異文化コミュニケーションの心構え
- ・事例で考える異文化コミュニケーション、ワークショップ

「やさしい日本語」でのコミュニケーション

- ・「やさしい日本語」とは
- ・「やさしい日本語」のポイント
- ・「やさしい日本語」に挑戦！（基礎編・応用編）

○「やさしい日本語プラットフォーム」の運営

やさしい日本語で表記した日本語学習や生活の情報など、様々な情報を共有するためのサイトを構築し、やさしい日本語の認知・普及と、地域で生活する外国人を共に暮らしていく人々として受け入れるきっかけづくりに役立てる。

「鳥取県やさしいにほんごプラットフォーム」

<https://plain-japanese.com/>

（事業報告附属明細書P20参照）

エ）日本語教育支援者（ボランティア）活動促進事業（県補助金3/4）

（決算額20千円/予算額316千円）

にほんごコース（オンライン、対面学習）等でサポート的に活動する日本語学習支援者（ボランティア）向けの研修会を開催し、その受講者に対面学習会で個別に学習補助をする「ボランティアパートナー」を体験してもらうことで活動を促進した。

<日本語ボランティア研修会（オンライン）>

日時：令和7年10月25日（土）10:00～12:00

内容：外国人学習者との対話のコツ

講師：古波藏 淑紀（PJプレス代表）

参加者数：16名

＜にほんごコース（対面学習会）のボランティアパートナー体験＞

日時：令和7年11月16日（日）、30日（日）13:00～14:00

場所：にほんごコース（初級前半）各会場

参加者数：16名（東部5名、中部3名、西部8名）

オ）医療・コミュニティ通訳ボランティアの派遣（県補助金3/4）

（決算額843千円/予算額1,258千円）

言語支援の要請が多様化する現場において、関係機関や外国出身者からの要請に応じて医療通訳ボランティア及びコミュニティ通訳ボランティアを派遣した。

○医療通訳ボランティア

・医療・保健機関等に派遣

＜登録者（R8.3月末現在）＞

英語49名、中国語17名、タガログ語3名、韓国語1名、ベトナム語1名、モンゴル語1名、タイ語3名、スペイン語1名 延べ76名（複数言語登録あり）

○コミュニティ通訳ボランティア

・保育園や学校、福祉分野、在留資格相談など公的機関等での手続等に派遣

＜登録者（R8.3月末現在）＞

英語58名、中国語16名、タガログ語5名、韓国語1名、ベトナム語1名、ポルトガル語1名、モンゴル語1名、タイ語3名、スペイン語1名 延べ87名（複数言語登録あり）

○令和7年度派遣実績 （ ）は前年度派遣実績

（単位：件）

	種別	東 部	中 部	西 部	計
英 語	医療	(88) 186	(44) 13	(5) 8	(137) 207
	コミュニティ	(26) 28	(5) 15	(5) 5	(36) 48
中 国 語	医療	(25) 17	(4) 2	(0) 1	(29) 20
	コミュニティ	(23) 9	(12) 9	(2) 3	(37) 21
ベトナム語	医療	(6) 28	(21) 28	(1) 0	(28) 56
	コミュニティ	(2) 10	(16) 19	(3) 1	(21) 30
タガログ語	医療	(1) 0	(3) 3	(0) 0	(4) 3
	コミュニティ	(4) 0	(3) 17	(0) 0	(7) 17
計	医療	(120) 231	(72) 46	(6) 9	(198) 286
	コミュニティ	(55) 47	(36) 60	(10) 9	(101) 116

（事業報告附属明細書P20参照）

カ）防災・災害時支援事業の実施（県補助金3/4）

（決算額65千円/予算額135千円）

大規模災害時に災害弱者となりやすい外国出身者の不安を取り除くため、外国人住民が防災についての知識を学び体験する防災勉強会を市町村や教育機関等と連携して実施した。

また、当財団オリジナルの「防災かるた」、「指差し避難カード」を活用し出前講座等を開催した。

○防災勉強会

実施日	対 象	参加者数	内 容
10/19	岡山大学惑星物質研究所外国人研修生ほか県内在住外国人住民	17 名	指定避難場所（三朝町総合スポーツセンター）でのロールプレイ
10/29	公立鳥取環境大学留学生	15 名	VR 体験・外国人留学生向け防災理解促進
12/12	米子国際ビジネスカレッジ留学生	45 名	大規模・多機関連携

○出前講座

実施日	対 象	参加者数	内 容
6/20	鳥取フードネットワーク協働組合	9 名	防災かるた・アプリ等
8/15	JET プログラム新規任用 ALT	15 名	日本の災害理解・防災アプリ等
9/17	鳥取フードネットワーク協働組合	11 名	防災かるた・アプリ等
11/30	南部町住民	30 名	防災かるた、119 通報訓練・AED 等
1/31	湯梨浜町在住外国人住民	5 名	防災セミナー（VR・非常食等）
3/23	鳥取フードネットワーク協働組合	15 名	防災かるた・アプリ等

○日本語学習と連動した防災教育

実施日	対 象	参加者数	内 容
9/21	にほんごコース受講者	18 名	防災かるた
3/1	にほんごコース受講者	16 名	防災かるた

キ）外国人相談窓口運営事業（県委託料）

（決算額 1,386 千円/予算額 1,279 千円）

平成31年4月の改正入管法施行に伴い、鳥取県から外国人受入環境整備交付金を財源とする「鳥取県国際交流財団外国人相談窓口業務」を受託した。これまで行ってきた外国人相談を拡充して各事務所に相談窓口を設け、市町村や専門機関等と連携し相談に応じた。職員で対応できない言語については、多言語対応アプリを搭載したタブレット等翻訳機器、出入国在留管理庁通訳支援事業の通訳サービスの活用により対応した。

併せて、相談員を対象とした研修会を実施し、相談対応スキルの向上を図った。

<相談窓口利用状況>

相談者数：延べ551名（本所318名、倉吉105名、米子128名）

相談分野：医療107件、通訳・翻訳89件、日本語学習63件、雇用・労働29件、ほか

使用言語：日本語227件、ベトナム語162件、英語89件、中国語73件

<相談員向け研修会>

回数：倉吉事務所3回、米子事務所3回

内容：国制度の情報共有や国等の研修会の伝達、相談業務に係るワークショップ等

（事業報告附属明細書P21参照）

ク）多文化共生サポート事業（県委託事業・法務省外国人受入環境整備交付金（運営））

（決算額 214 千円/予算額 398 千円）

平成30年度に財団ホームページに構築した多文化共生ポータルサイト（災害情報などの「重要なお知らせ」、「せいかつ安心情報」、「多言語相談フォーム」）の運用による相談内容の翻訳・回答や情報提供のほか、広報及び専門機関等への訪問強化により在住外国人へのサポート体制の充実を図った。

<制作した普及啓発ツール>

○指差し避難カード（韓国語版）

※財団ホームページからダウンロード可能

＜鳥取県多文化共生支援ネットワーク関係機関との連携＞

○地域部会（鳥取県交流推進課主催）

日時：令和7年7月30日（木）

内容：多文化共生の各種取組を説明

○全体会議（鳥取県雇用・働き方政策課主催）

日時：令和7年8月27日（水）

内容：相談窓口の運営状況や多文化共生の取組を説明

＜関係機関訪問＞

○鳥取労働局や法テラス、日本年金機構等の専門機関を訪問し、協力体制を確認

○市町村を訪問し、外国人相談窓口の開設や多文化共生の取組を呼びかけ

○市町村の住民登録窓口に財団の在住外国人向けのサービスを集約したファイルブックを提供し、転入した外国出身者への配布を依頼

ケ）私費外国人留学生奨学金の支給（県補助金 10/10）

（決算額 3,557 千円/予算額 3,691 千円）

i）私費外国人留学生奨学金制度

県内の大学・大学院・短期大学等に通学する私費留学生 11 名に月額 2 万円の奨学援助を行い、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として、当財団や地域の国際交流活動への貢献を促した。

・鳥取大学 4 名（中国 2、インドネシア 1、パキスタン 1）

・公立鳥取環境大学 7 名（中国 5、韓国 1、台湾 1）

ii）鳥取県友好提携・交流地域私費外国人留学生奨学金制度

鳥取県の交流地域である韓国江原特別自治道、中国吉林省・河北省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、ロシア ハバロフスク地方、台湾台中市、米国バーモント州、ジャマイカ ウェストモアランド県出身者を対象に、前・後期各 4 名に月額 2 万円の奨学援助を行い、在県中の地域における国際交流活動への協力を促した。これにより県民の国際理解促進に貢献するとともに、将来、鳥取県と友好交流地域との架け橋となり得る人材の育成を図る。

・前期 鳥取大学 3 名（韓国江原特別自治道 3）

公立鳥取環境大学（モンゴル中央県 1）

・後期 鳥取大学 3 名（韓国江原特別自治道 2、中国河北省 1）

公立鳥取環境大学（モンゴル中央県 1）

コ）地域の多文化共生推進交流会の実施（県補助金 3/4）

（決算額 57 千円/予算額 187 千円）

県内在住の外国人と地域住民と一緒に「鳥取ならではの」の自然を活かしたアクティビティや文化体験等を楽しみ相互に交流を深めることで、多文化共生の実践と浸透を図った。

＜鳥取市佐治町での多文化共生推進交流会＞

実施日：令和 7 年 10 月 25 日（土）、26 日（日）

場 所：鳥取市佐治町内

内 容：民泊及び田舎暮らし体験（手漉き和紙はがき作り、檜で折り鶴作り、星空観察ツアー、黎明の庭・プラザ佐治散策等、佐治谷話、振り返り会など）

参加者：鳥取大学及び公立鳥取環境大学の留学生 6 名、鳥取市佐治町民

主 催：（公財）鳥取県国際交流財団、（一社）五しの里さじ地域協議会

協 力：鳥取市

サ) 鳥取県多文化共生サポーター制度の運営（県委託料）

（決算額 634 千円/予算額 650 千円）

外国人住民の抱える問題を早期に発見し迅速かつ的確に対応するため、市町村からの推薦により、鳥取県知事が、外国人住民と行政機関等の橋渡し役となる多文化共生サポーターを委嘱している。当財団は、活動のための研修や情報提供を行うとともに、活動報告の共有、活動費の支給、保険加入等の業務を行った。

また、サポーターのスキルアップやサポーターとの情報交換を目的に島根県と共同で、全体研修会を開催し、外国人支援の担い手同士の広域的な連携・協働体制（支援者ネットワーク）の構築を図った。

<多文化共生サポーター（10 者・団体）>

鳥取市：5 団体（多言語国際交流サポート TIA、TIME(とっとり国際交流連絡会)、
にほんごがくしゅうかい、(一社)外国人ライフサポート nicotto、
パダウの花 行政書士・社会福祉事務所)

倉吉市：1 団体（Tori フレンド Network）

米子市：1 団体（日本中国友好協会米子支部）、3 個人（伊藤信広、LEE JIA XIAN、松川由依）

<全体研修会>

実施日：令和 7 年 7 月 17 日（木）

場 所：鳥取県西部総合事務所

内 容：育成就労制度の解説、外国人住民が抱える課題や問題点を抽出し改善策を検討するワークショップ

参加者：64 名（鳥取県多文化共生サポーター及び島根県外国人地域サポーター、山陰両県の県、市町村、地域国際化協会職員など）

シ) 国際交流ボランティア登録制度の運営（自主事業）

（決算額 0 千円/予算額 80 千円）

日本語教育、ホームステイ、ホストファミリーのボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて登録ボランティアを紹介した。

○紹介実績

日本語クラスで講師補助 ボランティア 60 名

とっとり青友会受入事業 ホームステイ 4 家庭

イ 担い手となる人材の育成

ア) 医療・コミュニティ通訳ボランティア確保・育成事業の実施（県補助金 3/4）

（決算額 779 千円/予算額 1,278 千円）

今後、多文化共生社会を推進していくためには、通訳ボランティアの果たす役割は益々重要であり、ボランティア人材の確保及び質の向上を目指して、人材の確保・育成・派遣の三段階で事業に取り組む、優秀な人材を確保し登録者の拡充を図った。

i) 確保事業（人材確保のための導入研修）

<入門編>

資質・適性のある活動候補者（希望者）を対象に、県内在住の外国出身者の現状理解や今後の活動に役立つトレーニング方法等についての座学研修

日 時：令和 7 年 9 月 27 日（土）13:00～15:30

場 所：ハイブリッド（オンライン＋伯耆しあわせの郷、オンデマンド）

内 容：

	講義①鳥取県内の多文化共生の現状「多文化共生とは？外国人と日本人をつなぐ通訳の力 ～鳥取県から見る多文化共生～」 講師 グエン ギ（財団 多文化共生コーディネーター） 講義②「医療・コミュニティ通訳の役割と心構え、通訳倫理 ～多様な背景を持つ人々を支える通訳ボランティアとは～」 講師 飯田 奈美子 氏（多言語コミュニティ通訳研究所） 受講者数：33名（会場7名、オンライン20名、オンデマンド6名） ii）育成事業（スキルアップ講座、自発的活動促進支援） ＜応用編＞ 言語及び医療の専門知識、対人援助能力などの資質向上とモチベーションの維持を目的とするスキルアップ研修 日 時：令和8年1月24日（土）10:00～15:30 場 所：ハイブリッド（オンライン＋県民ふれあい会館） 内 容： 言語別ロールプレイ（英語、中国語、タガログ語、タイ語、ベトナム語） 講師 多言語センターFACIL 通訳者 講義「医療・コミュニティ通訳の現場から ～あなたならどう対処する？～」 講師 李 裕美 氏（多言語センターFACIL 理事長） 受講者数：34名 ●受講後の新規登録者：6名（英語3名、中国語2名、ベトナム語1名） ＜自発的活動促進支援＞ 自主勉強会の会場確保や講師の派遣など側面的な支援 ○東部地区（英語）自主勉強会 場所：県民ふれあい会館研修室（原則毎月1回） 講師：財団理事・マリーナ翻訳サービス代表 シェリー メガリー 氏 財団コーディネーター ゼノス トレメイン 内容：テーマを決めて研修・ロールプレイ 参加者数：延べ78名 iii）派遣事業（医療・コミュニティ通訳ボランティア派遣事業（別掲）） イ）日本語教育プログラム教師専門研修（県委託料・文部科学省教育支援整備事業補助金（地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業） （決算額 27 千円/予算額 208 千円） 「日本語教育の参照枠」に基づく「生活Can do」を用いた「生活」に関する日本語教育プログラム にほんごコースの講師を対象にした専門研修を実施した。 ＜にほんごコース講師専門研修＞ [第1回] 日時：令和7年6月14日（土）10:00～12:00 形式：オンライン 内容：使用している教材の一部をサンプルに、コース授業を進める上での困難や疑問を反映した課題解決のための演習と、講師間で共有したいことなどの意見交換を通じて改善につなげるなどこれからの授業の参考とする。 講師：東京にほんごネット 有田 玲子氏 受講者数：10名
--	---

	[第2回] 日時：令和8年3月20日（金・祝）9:00～11:30 形式：オンライン 内容：特にオンライン授業にフォーカスし、年間の活動を通じて感じたことや困ったことを各コースで抽出し全体で共有した後、講師からトピックに分けて適宜助言や事例の紹介を受け、来年度の活動に向けた改善のポイントを確認した。 講師：東京にほんごネット 有田 玲子氏 受講者数：10名 ウ）通訳ボランティアスキルアップ講座の実施（県委託料） （決算額 784 千円/予算額 966 千円） スポーツの国際大会や海外選手団の受入れに対応しうる技量を備えた通訳ボランティアの確保を目的に、平成29年度以降、県から受託してスキルアップ講座を実施している。令和7年度は同年9月開催の東京2025世界陸上競技選手権大会に出場するジャマイカ陸上選手団事前キャンプと2027年5月に開催予定のワールドマスターズゲームズ2027関西を念頭にロールプレイを取り入れた講座を実施した。 <第1回> 日時：令和7年6月14日（土）13:00～16:30 場所：県民ふれあい会館※オンラインとのハイブリッド形式 講師：シェリー メガリー 氏 受講者数：53名 <第2回> 日時：令和7年8月23日（土）13:00～16:00 場所：ヤマタスポーツパーク布勢陸上競技場 講師：シェリー メガリー氏 受講者数：43名 <第3回> 日時：令和7年12月13日（土）13:00～16:30 場所：米子コンベンションセンター※オンラインとのハイブリッド形式 講師：畝崎 雅子 氏（一般社団法人ひろしま通訳・ガイド協会会長） 受講者：40名
(3) 世界につながる県民の国際理解・国際協力推進事業	ア 国際理解推進事業 ア）鳥取県米国バーモント州青少年受入業務（県委託料） （決算額 809 千円/予算額 1,561 千円） 鳥取県とバーモント州の青少年同士の交流を通して、互いの教育、文化、生活習慣等の違いを理解し、国際的視野を持った青少年の育成及び鳥取県とバーモント州の更なる交流促進を目的とし、同州の高校生の受入を行った。従前、県補助事業として受入及び派遣事業を実施してきたが、令和6年度からは県直営となり、受入事業のみ当財団が受託している。令和7年度は、県内の協力拠点校の生徒の自宅にホームステイをし、自然環境や社会環境をテーマとした視察、学校体験等を通して相互理解を深めた。高校生同士の直接的な交流となるよう工夫し、県内の高校と協働で事業を展開した。 受入期間：令和7年4月20日（日）～28日（月）（9日間） 交流団：Green Across the World 受入人数：10名（生徒8名、引率2名）

	受入学校：倉吉東高等学校 県内協力校：鳥取西高等学校 鳥取商業高等学校、米子西高等学校（バーモント州エセックス高校とオンライン交流を実施） （事業報告附属明細書P24参照） イ 国際協力推進事業 ア）県費留学生・研修員等の受入（県委託料） （決算額 8,210 千円/予算額 13,151 千円） 県民との友好親善の担い手となることを目的に、鳥取県と関係の深い国々の将来を担う青年を「協力交流研修員」又は「海外技術研修員」として招へいし、母国の発展に大きく寄与する人材となるよう養成するに当たり、受入に係る研修機関との連絡調整や生活支援等の業務を行った。 ＜鳥取県江原道職員相互派遣研修員受入事業＞ <table><tr><td>氏 名</td><td>李 娟珠（イ ヨンジュ）</td></tr><tr><td>研修期間</td><td>令和7年7月～令和8年6月（12か月）</td></tr><tr><td>研修科目</td><td>高齢者支援政策、産業・企業支援ほか</td></tr><tr><td>研修機関</td><td>鳥取県輝く鳥取創造本部ほか</td></tr></table> ＜自治体職員協力交流員受入事業/中国（吉林省）＞ <table><tr><td>氏 名</td><td>郭 楠（カク ナン）</td></tr><tr><td>研修期間</td><td>令和7年5月～令和8年3月（11か月）</td></tr><tr><td>研修科目</td><td>国際交流、観光、商工行政、福祉、文化</td></tr><tr><td>研修機関</td><td>鳥取県輝く鳥取創造本部ほか</td></tr></table> ＜ブラジル交流推進事業＞ <table><tr><td>氏 名</td><td>Adachi Karina（アダチ カリナ）</td></tr><tr><td>研修期間</td><td>令和7年6月～令和8年3月（10か月）</td></tr><tr><td>研修科目</td><td>Web デザイン</td></tr><tr><td>研修機関</td><td>有限会社あつぷるはうす（米子市）</td></tr></table>	氏 名	李 娟珠（イ ヨンジュ）	研修期間	令和7年7月～令和8年6月（12か月）	研修科目	高齢者支援政策、産業・企業支援ほか	研修機関	鳥取県輝く鳥取創造本部ほか	氏 名	郭 楠（カク ナン）	研修期間	令和7年5月～令和8年3月（11か月）	研修科目	国際交流、観光、商工行政、福祉、文化	研修機関	鳥取県輝く鳥取創造本部ほか	氏 名	Adachi Karina（アダチ カリナ）	研修期間	令和7年6月～令和8年3月（10か月）	研修科目	Web デザイン	研修機関	有限会社あつぷるはうす（米子市）
氏 名	李 娟珠（イ ヨンジュ）																								
研修期間	令和7年7月～令和8年6月（12か月）																								
研修科目	高齢者支援政策、産業・企業支援ほか																								
研修機関	鳥取県輝く鳥取創造本部ほか																								
氏 名	郭 楠（カク ナン）																								
研修期間	令和7年5月～令和8年3月（11か月）																								
研修科目	国際交流、観光、商工行政、福祉、文化																								
研修機関	鳥取県輝く鳥取創造本部ほか																								
氏 名	Adachi Karina（アダチ カリナ）																								
研修期間	令和7年6月～令和8年3月（10か月）																								
研修科目	Web デザイン																								
研修機関	有限会社あつぷるはうす（米子市）																								
(4) 山陰・夢みなと博覧会 記念基金を活用した県 民主体・参加型国際交 流事業	ア 基金による助成事業 ア）民間国際交流・協力事業への助成 （決算額 5,547 千円/予算額 25,100 千円） 県内に拠点をおく民間交流団体等が実施する国際交流活動に対し、事業に係る直接的な経費等を200万円（青少年事業を含む場合は300万円）を上限に助成した。 交付実績：8 事業（5,486 千円） （事業報告附属明細書P24参照） イ）海外教育旅行への助成 （決算額 7,660 千円/予算額 10,000 千円） 本県の将来を担う児童・生徒の国際性豊かな資質の醸成と、国際定期便の利用促進に資するものとして、県内の小・中学校、高等学校等が実施する海外への教育旅行に対し、経費の一																								

部を助成した。(1万円を渡航する生徒の人数分交付。また、渡航において県内発着便を利用する場合には、1人当たり1万円を上乗せして交付)

交付実績：21事業（7,660千円）

(事業報告附属明細書P25参照)

イ 基金による県民参加型交流事業

ア) 子どものための異文化理解体験講座の実施

(決算額 61 千円/予算額 439 千円)

小学生を対象に、多様な価値観や文化的背景に触れる機会と世界の中の日本に目を向ける契機を提供することを目的とし、地域に暮らす外国出身の講師を派遣し、母国の生活や文化を紹介する体験型の出前講座を実施した。

＜東部＞面影、大正、世紀、浜坂、浜村、若桜学園 計6校

＜中部＞明倫、浦安、赤碓、船上 計4校

＜西部＞車尾、福米西、彦名、箕蚊屋、伯仙、淀江、西伯、米子養護 計8校

○対象校数 全18校 913名

(事業報告附属明細書P27参照)

イ) 国際交流フェスティバルの実施

(決算額 392 千円/予算額 540 千円)

広く県民と在住外国人との協働による異文化理解を促進するため、県内3地区で開催されている民間団体（実行委員会）主催の国際交流フェスティバルに共催者として参画した。

＜東部＞第37回タイムフェスティバル

日時：令和7年11月8日（土）11:00～15:00

場所：とりぎん文化会館

内容：ステージパフォーマンス出演9団体、ブース出展27団体

来場者数：1,000名

＜中部＞くらし国際交流フェスティバル2025

日時：令和7年11月9日（日）11:00～14:00

場所：伯耆しあわせの郷

内容：ステージパフォーマンス出演6団体、ブース出展21団体

来場者数：600名

＜西部＞よなご国際交流フェスティバル2025

日時：令和7年11月3日（月・祝）11:00～15:00

場所：米子市文化ホール

内容：ステージパフォーマンス出演9団体、ブース出展24団体

来場者数：1,700名

(事業報告附属明細書P28参照)

ウ) 多文化共生出前講座

(決算額 14 千円/予算額 118 千円)

外国人住民の文化等に親しみ、互いが価値観を尊重して生活していくために、希望する団体等からの依頼を受け、外国の文化や外国人の人権について講話や体験講座を行う人材（財団多文化共生コーディネーター、国際交流コーディネーター）を講師として派遣した。

		日 時	派遣先・対象
	1	令和7年6月13日（金） 14:40-16:10	県立倉吉総合看護専門学校
	2	令和7年7月7日（月） 16:00-16:50	倉吉北高校インターアクトクラブ
	3	令和7年9月11日（木） 10:40-12:15	米子市立弓ヶ浜小学校（5年生）
	4	令和7年10月8日（水） 10:00-11:00	米子市尚徳公民館
	5	令和7年11月26日（水） 10:45-12:20	米子市立河崎小学校（6年生）
	6	令和8年1月21日（水） 14:35-15:20	北栄町立大栄小学校（5年生）
	7	令和8年2月4日（水） 13:40-14:25	岩美町立岩美南小学校（3、4年生）
	8	令和8年2月27日（金） 10:00-11:00	ひまわり保育園（年長・年中児）

法人管理 会議等開催状況	評 議 員 会 (1) 第46回評議員会（決議の省略による） 令和7年5月30日（金） 議決事項 第1号議案 令和6年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録の承認について 第2号議案 理事及び監事の選任について 報 告 事 項 令和6年度事業報告及びその附属明細書について (2) 第47回評議員会（決議の省略による） 令和7年7月11日（金） 議決事項 第1号議案 評議員の選任について 第2号議案 理事の選任について (3) 第48回評議員会（決議の省略による） 令和7年11月19日（水） 議決事項 第1号議案 理事の選任について (4) 第49回評議員会（決議の省略による） 令和8年3月30日（月） 議決事項 第1号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の変更及び常務理事の報酬の額の決定について 報 告 事 項 令和8年度事業計画及び収支予算等について
	理 事 会 (1) 第86回理事会 令和7年5月15日（木） 議決事項

	第1号議案 令和6年度事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について 第2号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団資産管理運用規程の変更について 第3号議案 定時評議員会（決議の省略による）の招集について 報告事項(1) 令和6年度資産運用実績について 報告事項(2) 令和7年度職務執行の状況について (2) 第87回理事会（決議の省略による） 令和7年5月30日（金） 議決事項 第1号議案 理事長、副理事長及び常務理事の選定について (3) 第88回理事会（決議の省略による） 令和7年7月10日（木） 議決事項 第1号議案 評議員の選任について 第2号議案 理事の選任について (4) 第89回理事会（決議の省略による） 令和7年7月11日（金） 議決事項 第1号議案 副理事長の選定について (5) 第90回理事会（決議の省略による） 令和7年11月5日（水） 議決事項 第1号議案 理事の選任について (6) 第91回理事会 令和7年11月26日（水） 議決事項 第1号議案 理事長の選定について (7) 第92回理事会 令和8年3月16日（月） 議決事項 第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算等について 第2号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程の変更について 第3号議案 臨時評議員会（決議の省略による）の招集について 第4号議案 令和8年度資産運用計画について 第5号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団鳥取県友好提携・交流地域私費外国人留学生奨学金支給要綱の変更について 第6号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団鳥取県私費外国人留学生奨学金支給要綱の変更について 報告事項 令和7年度職務執行の状況について
--	---

令和7年度 事業報告附属明細書

公益目的事業 国際交流・多文化共生の推進

(1) 地域の国際化に向けた情報の収集・提供・発信

ア 多言語情報の提供と発信

ア) ホームページの運営 (単位：件)

区 分	R7	R6	R5
サイトへの訪問数	41,789	32,427	29,209
月平均	3,482	2,702	2,434
アクセスユーザー数	29,216	20,646	19,700
月平均	2,434	1,721	1,642
ページビュー（閲覧ページ）合計数	86,661	88,306	71,724
月平均	7,221	7,359	5,977

イ) SNSによる情報発信

<Facebook フォロワー数> (単位：人)

	R7	R6	R5
やさしい日本語/英語	354	320	289
中国語簡体字	63	61	53
中国語繁体字	187	185	182
ベトナム語	1,565	1,470	1,414
合 計	2,169	2,036	1,938

<分野別発信件数>

分 野	内 容 例	件 数
① 生活・手続	入管手続、在留資格変更、漁業権、国勢調査等	9 件
② お金・仕事	給付金、社会保険、最低賃金等	5 件
③ 医療・健康	熱中症、感染症、保険制度、年末年始の医療機関の営業時間等	5 件
④ 防災・安全	地震、大雪、災害注意喚起等	11 件
⑤ 教育・日本語	日本語講座、試験情報等	3 件
⑥ 生活・イベント	文化・地域イベント等	5 件
⑦ 行政・お知らせ	事務所案内、広報等	4 件

投稿記事・リーチ数上位 10（ベトナム語）

投稿内容			リーチ数
1	2026. 1. 6	県内で発生した地震の情報	8,661
2	2025. 7. 1	熱中症予防・対策について	4,572
3	2026. 1. 7	地震注意喚起・あんしんトリピーの紹介	4,054
4	2026. 1. 20	大雪予報について	3,877
5	2025. 10. 28	国際フェスティバルの紹介	3,457
6	2025. 9. 22	日本語コース募集	3,526
7	2025. 11. 12	県内のスポット紹介	3,205
8	2025. 4. 25	ベトナム大使来県周知	2,778
9	2025. 5. 14	外国人の方向けの鳥取 PR リーフレット	2,671
10	2026. 3. 24	自転車の青切符制度	2,434

投稿記事・リーチ数上位5（英語）

	投稿内容		リーチ数
1	2026. 3. 23	自転車の青切符制度	4,788
2	2026. 1. 6	県内で発生した地震の情報	2,030
3	2025. 11. 7	外免切替ルール変更（学科試験10問～50問など）	1,169
4	2026. 1. 7	より在留申請オンラインシステムの更改	669
5	2025. 5. 30	期間内の燕趙園の無料入場	647

投稿記事・リーチ数上位3（中国語・簡体字）

	投稿内容		リーチ数
1	2025. 4. 21	日本語コース募集	116
2	2025. 5. 19	外国人の方向けの鳥取PR リーフレット	103
3	2025. 4. 28	ベトナム大使来県周知	98

投稿記事・リーチ数上位3（中国語・繁体字）

	投稿内容		リーチ数
1	2025. 10. 1	鳥取県最低賃金改定	116
2	2025. 4. 9	機関紙紹介	112
3	2025. 5. 15	外国人の方向けの鳥取PR リーフレット	101

※リーチ数：投稿ページのコンテンツを見たユーザー数

イ 交流拠点の運営と関係機関との連携

ア) 本所、倉吉事務所、米子事務所の運営

<令和7年度利用者数>

(単位：人)

目 的	本 所	倉吉事務所	米子事務所
図書利用	322	198	313
うち外国人	61	45	29
うち日本人	261	153	284
日本語学習	513	0	131
うち外国人	264	0	51
うち日本人	249	0	80
相談	64	16	79
うち外国人	46	11	33
うち日本人	18	5	46
その他一般利用	876	403	686
うち外国人	111	46	128
うち日本人	765	357	558
計	1,775	617	1,209
うち外国人	482	102	241
うち日本人	1,293	515	968
(1日平均)	6.1	2.5	5.0
貸出図書冊数(冊)	402	254	351

＜全体利用者数の推移＞

(単位：人)

年 度	本 所	倉吉事務所	米子事務所	計
H28	10,689	1,878	4,032	16,599
H29	10,836	1,898	3,349	16,083
H30	8,008	1,665	3,127	12,800
R1	7,345	1,575	2,340	11,260
R2	4,312	987	1,483	6,782
R3	2,288	905	1,443	4,636
R4	2,204	957	1,528	4,689
R5	2,018	1,035	1,472	4,525
R6	2,104	915	1,473	4,492
R7	1,775	617	1,209	3,601

※H30～ 本所・県民ふれあい会館へ移転、米子事務所・土曜日閉所

R1.7～ 米子事務所・米子コンベンションセンター1階から4階へ移転

R6.4～ 本所 土曜日閉所

(2) 地域の国際化につながる活動の推進と在住外国人トータルサポート事業

ア あんしん生活・コミュニケーション支援

ウ) 鳥取県における地域日本語教育推進体制整備事業

(v) やさしい日本語の普及・活用

＜やさしい日本語プラットフォーム＞の運営 (単位：件)

区 分	R7
サイトへの訪問数	9,190
月平均	766
アクセスユーザー数	1,016
月平均	85
ページビュー (閲覧ページ) 合計数	3,142
月平均	262

オ) 医療・コミュニティ通訳ボランティアの派遣

＜派遣件数の推移＞

(単位：件)

言 語	種 別	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
英 語	医療	186	154	98	120	71	66	71	126	137	207
	コミュニティ	43	44	42	43	39	23	27	50	36	48
中 国 語	医療	71	76	61	30	10	22	19	27	29	20
	コミュニティ	8	11	13	18	9	22	15	18	37	21
ベトナム語	医療	0	0	0	16	13	21	22	34	28	56
	コミュニティ	0	1	5	24	6	10	11	6	21	30
タガログ語	医療	4	6	4	0	0	2	8	6	4	3
	コミュニティ	9	11	14	9	2	2	6	2	7	17
計	医療	261	236	163	166	94	111	120	193	198	286
	コミュニティ	60	67	74	94	56	57	59	76	101	116

キ) 外国人相談窓口運営事業

<外国人相談窓口 利用・取組状況>

(単位：件)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
①相談者数		47	40	44	53	36	50	48	27	37	67	45	57	551
内訳	本所	30	23	29	34	18	29	30	18	20	38	19	30	318
	倉吉	10	5	7	11	10	10	12	5	6	9	10	10	105
	米子	7	12	8	8	8	11	6	4	11	20	16	17	128
分野	入管手続き	4	2	3	1	1		1		2	1		2	17
	雇用・労働	2	4	3		5	3	2	2	3	1	3	1	29
	社会保険・年金							2				1		3
	税金								1			1		2
	医療	6	5	7	11	8	9	12	3	7	16	9	14	107
	出産・子育て	2	1	3	3		1	2	4	4	2	5		27
	教育	1	1	1	2	3			1	3		1	2	15
	日本語学習	8	9	2	3	4	6	8	3	3	8	4	5	63
	防災・災害				1						1	1		3
	住宅		1		1	6	3		1	1	1		2	16
	身分関係			1			1	1						3
	交通・運転免許	3	1	2	3		3	5	2	2		2	3	26
	通訳・翻訳	10	1	5	12	4	12	7	7	2	15	3	11	89
	福祉			2					1					3
	マイナンバー			4	3			1						8
	手続き一般		1	2	1		2				2	1		9
	その他	11	14	9	12	5	10	7	2	10	20	14	17	131
相談方法	面接	17	18	22	29	19	31	22	13	17	29	24	21	262
	電話	21	16	13	15	13	11	15	12	10	26	12	21	185
	オンライン相談					1								1
	メールその他	9	6	9	9	3	8	11	2	10	12	9	15	103
新規・再来	新規	22	28	21	26	20	31	23	16	23	33	26	27	296
	再来	25	12	23	27	16	19	25	11	14	34	19	30	255
国籍	韓国											1	1	2
	中国	4	2	7	4	5	4	1	1	1	6	2	10	47
	台湾											1	1	2
	インドネシア	1			5					1		2	1	10
	ベトナム	10	9	13	12	5	26	22	10	11	18	10	15	161
	フィリピン	2	4	3		2		1				2	1	15
	インド				1			1	1		1			4
	スリランカ						1							1
	ネパール	2									1		1	4
	バングラディシュ		3	1	2			1		3	5	2	2	19

	イギリス							1			3		2	6
	アメリカ				2				1					3
	カナダ	1												1
	エチオピア	1							1	2	2		1	7
	スーダン									1				1
	ヨーロッパ										1	1	1	3
	南米						2			1	1			4
	アフリカ諸国	3	2	1	5	1	1	5	1	1		3	1	24
	日本人	19	16	19	22	21	15	16	11	16	28	20	18	221
	不明	4	4			2	1		1		1	1	2	16
性別	男性	20	22	15	27	12	15	23	10	19	24	21	30	238
	女性	27	18	29	25	20	35	25	17	18	43	22	26	305
	不明				1	4						2	1	8
年齢	10 歳代					2								2
	20 歳代	1	2		8	1	6	2	4	4	4	5	5	42
	30 歳代	4	3	8	7	1	15	14	10	10	15	8	11	106
	40 歳代	8	8	9	8	8	4	1	2	4	15	7	8	82
	50 歳代	3	4	5	2	1	4	2	2	2	2	3	6	36
	60 歳代	3	2	5	3	5	5	5	1	7	4	5	8	53
	不明	28	21	17	25	18	16	24	8	10	27	17	19	230
②使用言語		47	40	44	53	36	50	48	27	37	67	45	57	551
言語別	日本語	21	23	20	18	21	17	12	10	16	25	22	22	227
	英語	6	2	3	14	4	2	10	6	9	16	7	10	89
	中国語	10	7	8	8	5	5	4	1	2	8	5	10	73
	ベトナム語	10	8	13	13	6	26	22	10	10	18	11	15	162

<相談件数等の推移>

(単位：件)

区 分		R7	R6	R5	R4	R3	R2	R1
相談件数		551	460	347	434	391	332	181
内 訳	本 所	318	243	166	197	186	198	125
	倉吉事務所	105	95	88	119	70	73	35
	米子事務所	128	122	93	118	135	61	21
	外国人	221	265	234	244	161	160	99
	日本人	330	195	113	190	230	172	82

<主な相談対応事例（○：外国人、●：日本人）>

入管手続

○勤務先の退職に当たり、入管手続の可否を聞かれ、手続が必要であること、書類及び方法を説明した。

○日本国籍の取得について聞かれ、必要書類を提供するとともに、鳥取県行政書士会（無料相談）を案内した。

雇用・労働

●鳥取県での就職先を探す知り合いの外国人向けに、ハローワークの外国人求人窓口を案内した。

○就職に当たり、業種によって在留資格の変更が必要かどうかを聞かれ、鳥取県行政書士会（無料相談）を案内した。

●転職に伴う在留資格の変更手続について聞かれ、広島出入国在留管理局境港出張所を案内した。

社会保険・年金

○国民健康保険の減額について聞かれ、自治体に確認し減額可能な旨、手続の際は通訳派遣が可能な旨を伝えた。

医 療

○健康診断を希望する御家族の予約を代行した。病院に確認し、持ち物や健康状況に関する注意点を伝えた。

○予防接種の申込書の書き方を聞かれ、一緒に内容を確認し記入を手助けた。

○かかりつけ医を探されていたため、自宅近隣の病院情報を提供した。

出産・子育て

○出産後の手続について聞かれ、市役所及び入管庁、大使館での必要な手続について説明した。

○乳児の一時預かりについて聞かれ、保育所入所や一時預かり、通園制度の説明に加え料金及び手続方法も案内した。

○乳児予防接種について聞かれ、予防接種の日時を予約し通訳派遣を手配した。

教 育

●小学生から外国をテーマにした自由研究の協力依頼があり、ベトナムのおもちゃや紙幣などの実物を見せ、説明した。

●学校転入の際の支援について聞かれ、行政機関の支援メニューや財団による通訳/日本語支援について案内した。

○小学生の子どもの編入学について聞かれ、日本の義務教育制度を説明するとともに、自治体の窓口を案内した。

日本語学習

○日本語クラスの受講を希望されたため、開催日程を伝え、財団HP上の申込フォームを案内した。

○ JLPT の受験レベルを聞かれ、公式サイト上のN1 からN5 までの問題例を紹介し、自分のレベルを確認いただいた。

●日本語の個別レッスン先を聞かれ、財団で実施している旨を説明した。併せてオンラインにはほんごコースも案内した。

住 宅

●賃貸住宅の連帯保証人について聞かれ、鳥取県安心賃借支援事業について説明し、連絡先を伝えた。

○市営住宅への入居相談があり、住宅供給公社のことに加え、通訳が必要な場合は事前申込が必要な旨を伝えた。

交通・運転免許

○バイクの免許切替えについて聞かれ、免許センターに電話し、面接の予約をした。

○運転免許の更新に係る手続について、更新期限や必要書類等の情報を伝えた。

通訳・翻訳

○会社からのメールの翻訳を希望されたため、内容を中国語で翻訳し説明した。

○医療機関受診時の通訳希望を受け、通訳ボランティアを派遣した。

●自治体から電話で、窓口を訪れている外国人の通訳を頼まれ、その場で対応した。

●法廷通訳や訴訟に係る通訳派遣について聞かれ、当財団の制度では対応できないことを伝え、弁護士会を案内した。

行政手続

●パスポートの取得手続や行政書類の作成方法について聞かれ、鳥取県行政書士会（無料相談）を案内した。

○マイナンバーカードの申請に当たり、休日の手続を希望されたため、市町村に確認し予約可能日を案内した。

その他

●パキスタンやイスラム教について書かれている本を探されていたため、財団の書籍を紹介し貸し出した。

○自転車の修理について聞かれ、相談者自宅の近くにある自転車販売店の情報を案内した。

○自宅に届いた国勢調査の資料について聞かれ、一緒に資料を確認し、記入を手助けた。

○携帯電話の操作方法について聞かれ、一緒に画面を見ながら、入力を手助けた。

●市町村から、海外からの派遣職員の受入方法について聞かれ、県及び財団が対応する研修員の受入事例に加え、既に相互派遣を行っている他市町村の情報を案内した。

○日本語のチラシの内容について聞かれ、一緒に見ながら、解説を交えながら理解できるように支援した。

(3) 世界につながる県民の国際理解・国際協力推進

ア 国際理解推進事業

ア) 鳥取県米国バーモント州青少年受入業務（県委託事業）

		
授業体験（倉吉東高校）		倉吉東高生と城原海岸（岩美町）での自然環境学習
		
サントリー天然水奥大山ぶなの森工場見学		生徒・ホストファミリー送別会（倉吉東高校）

(4) 山陰・夢みなと博覧会記念基金を活用した県民主体・参加型国際交流事業

ア 基金による助成事業

ア) 民間国際交流・協力事業への助成

No.	事業名	実施主体	実施時期	実施場所	概要	対象者数 (人)	助成額 (千円)
1	日韓合同写真展 開催及び青峰写 真会員受入事業	米子写真会	R7. 5. 16～17	境港市及び 米子市、琴 浦町ほか	設立年から実施している日 韓合同写真展の開催にあわ せ韓国青峰写真会員を受け 入れた。「東草市との姉妹 都市提携 30 周年記念事 業」となるため米子市協力 のもと行った。	受 入 5	36
2	韓国・江原道U 12女子バスケ ットボールチー ムとのバスケ交 流	岩倉 ShiningStars	R7. 7. 18～21	韓国・江原 道特別自治 道	現地女子小学生バスケット ボールチームとの交流試合 や交流会を通じて国際的な 視野を広げることを目的 に、交流試合、合同練習、 文化紹介、共同アクティビ ティ、昼食交流会を初めて 実施した。	派 遣 14	353
3	第15回モンゴ ル友好交流の翼	鳥取県モンゴ ル中央県親善 協会	R7. 7. 19～26	モンゴル中 央県ほか	長年続いている鳥取県の友 好交流先のモンゴル中央県 民との相互交流の派遣事 業。日本語学級生との交 流、遊牧民の子ども達と馬 を通しての交流、ホームス テイ、元鳥取県農業研修生 の農園を訪問した。	派 遣 21	1,566
4	鳥取 JAZZ 次世 代国際交流事業	鳥取 JAZZ 実 行委員会	R7. 8. 22～ 9. 3	アメリカ ニューヨーク市、デト ロイト市	2019 年より開始した鳥取 JAZZ とデトロイトジャズフ ェスティバルの交流を発展 させ、鳥取のジャズに興味 のある次世代の若者を中心	派 遣 9	1,411

					とした交流団を結成し、ニューヨークとデトロイトの若者と演奏し、情報、意見交換し、相互理解を深めた。			
6	日韓青少年伝統芸能交流会 2025	打吹童子ばやし振興会	R7. 9. 12～15	倉吉市、鳥取市、北栄町	昨年韓国で開催された国際青少年芸術祝典に参加した際に親交を深めた韓国江原道江陵市の青少年を招き、子ども達による伝統芸能の発表会を行った。また、日韓の青少年の伝統芸能の関係者が交流し、相互理解を深めた。	受入	17	256
7	韓国江原特別自治道交流ツアー	在日本大韓民国民団鳥取県地方本部	R7. 11. 14～16	韓国・江原道特別自治道春川市	これまで交流を続けてきたヘマジ村の後継となるウネンナムマウルを訪問し、料理交流事業、鳥取県発のあいサポート運動交流事業などを行った。	派遣	25	936
8	韓国羅州市訪問交流事業	鳥取県中部地区日韓親善協会	R7. 11. 21～24	韓国全羅南道羅州市	倉吉市と国際姉妹都市交流を進めている羅州市を訪問し、料理交流を行うほか羅州市の歴史や文化を学ぶため博物館を訪問した。	派遣	20	928
合 計						派遣 89 受入 22		5,486

※派遣のうち米子便利用 59 人、貨客船利用 0 人

イ) 海外教育旅行への助成

	実施主体及び事業名	訪問国・地域	実施時期	対象者数（人）		助成額 (円)
				(A) 注 1	(B) 注 2	
1	米子高等学校（江原外国語高校短期留学）	韓国江原道	R7. 6. 11～15	6	6	120,000
2	青翔開智中学校・高等学校（マレーシア大学見学研修）	マレーシア	R7. 7. 6～11	7	0	70,000
3	米子東高等学校（勝田ヶ丘同窓会小川・早原奨学基金海外留学支援事業）	アメリカ・サント イェゴ	R7. 7. 25～8. 5	5	0	50,000
4	米子東高等学校（SSH アメリカ・サントイェゴ 海外研修事業）	アメリカ・サント イェゴ	R7. 7. 25～8. 5	3	0	30,000
5	倉吉西高等学校（シンガポール・マレーシア研修）	シンガポール・マレーシア	R7. 7. 27～8. 1	14	0	140,000
6	米子工業高等専門学校（韓国研修 2025-1）	韓国	R7. 8. 20～25	27	27	540,000
7	米子工業高等専門学校（マレーシア研修 2025）	マレーシア	R7. 9. 1～9	15	0	150,000

8	米子工業高等専門学校（韓国研修2025-2）	韓国	R7.9.10～15	14	14	280,000
9	湯梨浜学園中学校・高等学校（インドネシア海外語学研修）	インドネシア・バリ島	R7.9.26～10.1	52	0	520,000
10	鳥取西高等学校（バーモントSTEM研修プログラム）	アメリカ・バーモント州	R7.10.10～22	6	0	60,000
11	青翔開智中学校・高等学校（SSHオーストラリア海外研修旅行）	オーストラリア	R7.10.17～25	5	0	50,000
12	米子北斗中学校（中学3年生海外探求旅行）	韓国	R7.10.19～22	28	28	560,000
13	米子南高等学校（鳥取県立米子南高等学校と韓国江原特別自治道雪嶽高等学校高校生との交流事業）	韓国・江原特別自治道	R7.10.25～29	3	3	60,000
14	鳥取西高等学校（令和7年度海外研修旅行）	台湾	R7.12.2～5	260	0	2,600,000
15	米子東高等学校（令和7年度台湾桃園市立陽明高級中等学校等交流派遣事業）	台湾	R7.12.8～12	25	25	500,000
16	鳥取県立米子西高等学校（マレーシア学生との国際交流事業）	マレーシア	R8.1.5～11	6	0	60,000
17	米子工業高等専門学校（ベトナム研修2025）	ベトナム	R8.2.23～27	14	0	140,000
18	米子東高等学校（オーストラリア（ケアンズ）研修）	オーストラリア・ケアンズ	R8.2.26～3.11	35	0	350,000
19	米子西高等学校（オーストラリア（ケアンズ）研修）	オーストラリア・ケアンズ	R8.2.26～3.11	18	0	180,000
20	境高等学校（オーストラリア（ケアンズ）研修）	オーストラリア・ケアンズ	R8.2.26～3.11	3	0	30,000
21	鳥取敬愛高等学校（グローバル・プロジェクト・イン・シンガポール）	シンガポール	R8.3.4～8	117	0	1,170,000
合 計				663	103	7,660,000

注1) 全派遣人数

注2) うち米子空港就航便・環日本海定期貨客船利用者数

イ 基金による県民参加型交流事業

ア) 子どものための異文化理解体験講座の実施

	
鳥取市立大正小学校（ベトナム）	琴浦町立赤碕小学校（ドイツ）
	
南部町立西伯小学校（中国）	米子市立彦名小学校（ブラジル）

< 講座の満足度（受講者アンケート結果） >

平均 9.58 点（満点 10 点）

< 派遣校からの声 >

- ・ 日常生活や学校など身近なテーマで親しめた
- ・ クイズ形式の国紹介は児童が考えながら、悩みながら聞くことができた
- ・ 写真や動画があり分かりやすい内容だった
- ・ 民族衣装や遊び道具等、児童が実際に触れて楽しめるものが多数あり良かった
- ・ どの学年の児童にも分かりやすく、興味がわくような体験交流会にとっても感謝している
- ・ 講座後に友達とバンブーダンス（棒で代替）や手遊びをして楽しんでいた
- ・ 出身国の様々な文化に触れ、知識の幅が広がり、家に帰ってから調べた子がいた
- ・ 異文化体験で得た「様々なものの見方」を生活科の探究活動や身近な人との関わりに活かしたい
- ・ 外国人が困っていること（言葉）について、日本語で分かりやすく、やさしい日本語で「です」「ます」を使って伝えるなど、具体的な方法を一緒に考えることができた

イ) 国際交流フェスティバルの実施

第37回タイムフェスティバル

	
インドネシアの紹介	中学生実行委員作成の横断幕とスマイル

くらし国際交流フェスティバル2025

	
初出演のミャンマー舞踊	知っとく 納得! 台湾&ベトナムクイズ

よなご国際交流フェスティバル2025

	
販売ブースと来場者との交流	ステージ (伝統舞踊披露)